

授業科目名 <英訳>	環境汚染と健康 Effects of Environmental Pollutions on Human Health			担当者氏名	医学研究科 教授 小泉 昭夫 医学研究科 准教授 原田 浩二 医学研究科 特定講師 人見 敏明 人文科学研究所 教授 武田 時昌			
群	現代社会適応科目群		系列	健康科学系科目				
旧群	B群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義
開講期	前期	曜時限	水4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]								
<p>授業のテーマ： 化学物質の健康影響を考える学問として「正」の面を扱う薬理学と「負」の面を扱う中毒学がある。本コースでは、環境汚染物質や身近にある金属、有機物質の毒性を有名な事件や古典を題材として考察し、初級中毒学を学ぶ。本年度は、984年に丹波康頼により書かれた、医学書の最高傑作といわれる「医心方」を「学び」の教材として扱い、本書に記載された中毒現象を考察する。「医心方」の読解は、人文研の武田時昌教授より指導を受ける。</p> <p>目的： 1. 毒性学の概要を知ることができる 2. 環境汚染物質の毒性を知る 3. 身近にある金属、有機物質の毒性を知る 4. 毒物に関して、症状やメカニズムから文献検索ができる。 5. 症状と経過から毒物のメカニズムを予想できる。</p>								
[授業計画と内容]								
以下の課題について、1課題あたり1～2週の授業を行う予定である。								
1.オリエンテーション 2.医心方を読む-(1) 概説・読み方 3.アルコールの毒性と遺伝 4.産業による環境汚染物質～水俣病、エコトキシコロジー 5.ローマ帝国滅亡と鉛、京おしろい、神経毒性 6.医心方と現代医療、治療薬としての砒素 7.タリウム殺人事件、大学研究施設内での化学物質管理 8.トリカブト殺人事件-(1)、毒物相互作用の知識 9.トリカブト殺人事件-(2)、フグ毒 10.地下鉄サリン事件、有機リン化合物と拮抗剤 11.麻薬の毒性、大麻と肥満 12.医心方を読む-(2) グループ発表・ディスカッション 13.医心方を読む-(3) グループ発表・ディスカッション・講評								
[履修要件]								
スタート時点では化学、生物の知識は必要ではないが、授業中必要になる知識については、授業内で適宜補足する。								
[成績評価の方法・基準]								
出席とグループ発表、質問等の積極性50%、試験50%								
----- 環境汚染と健康(2)へ続く -----								

環境汚染と健康(2)

[教科書]

プリントを配布する。
日本現存最古の医学書『医心方』を題材にグループ発表を行う。

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)]

講義の日程について若干の差し替えがあるかもしれない。